

**平成26年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	今年度の実績値 44,676

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数（人）	34,461	41,947	44,611	47,712	45,276	19,678	44,676
	貸し室稼働率（％）	56	49	56	63	65	55	59
	延べ事業開催回数(回)	35	40	48	45	47	20	53
	延べ事業参加者数(人)	7,472	21,633	22,466	21,733	17,799	5,142	17,507

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	91,289	指定管理委託料	89,389
	事業収入（公演収入等）	8,951	事業収入（公演収入等）	10,314
	利用料金	8,483	利用料金	8,706
	助成金	16,000	助成金	17,305
	合計	124,723	合計	125,714
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	42,025	人件費	37,350
	維持管理経費	43,536	維持管理経費	44,938
	事業等経費	39,162	事業等経費	39,087
	合計	124,723	合計	121,375
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	4,339

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	1,860	1,861	4,661	1,861	3,461	1,861
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	97,488	85,314	86,604	98,291	125,389	117,004
	(内、指定管理委託料)	93,319	84,734	82,972	89,545	89,464	89,389
	実質経費（歳出－歳入）	95,628	83,453	81,943	96,430	121,928	115,143

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的 to 実施し、常に清潔に保たれているか。	B	建築物定期検査や保守点検の結果などを踏まえ、適宜修繕を実施。効率的な空調運転となるよう配慮した結果、光熱水料費を削減することができた。音響卓更新に伴い、備品廃棄等の整理を実施。	B	仕様書等に基づき適正に管理運営業務は実施されている。また、利用者に理解を求めながら、社会情勢や環境に配慮しながら節電対策を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	他地域で実施された研修に職員を派遣するなど、制作スキルの向上に努めた。	B	仕様書等に基づき適正に実施されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	アリオ管理組合と連携し、緊急時に備えた防火管理体制を築いた。	B	周辺施設と連携を取り、適正に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケート結果などから市民の要望に応え、利用しやすい運営を心がけた結果、利用料が増収となった。	B	仕様書に基づき適正に業務が実施されている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	文化庁芸術祭優秀賞を受賞。小中高校へのアトリチ事業として「演劇」の授業を実施。	B	仕様書に基づき適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	SNSサービスやメールマガジンを活用し、事業の広報に努めたほか、ウェブサイトの刷新に向けて着手。	B	SNS等を利用し、積極的な情報提供を行っている他、新聞等の紙媒体のメディアにも取り上げられる等、宣伝に努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	文化庁、文部科学省、(一財)地域創造などの助成金を積極的に獲得し、拡充。	B	収支計画に基づき適正に執行されている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況、事業運営状況とも概ね近年と同様の状況である。アンケート結果を分析し、要望を取り入れた事業を展開している点は評価できるが、その活動が広く周知されていない。施設、設備の管理については開館から26年を経過しており指定管理者としてその状況把握とともに、老朽化に対応した修繕計画を作成する等、適切な管理に努めていただきたい。
総合評価	
B	

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①毎回このワークショップに参加して大満足です。できればもっと長い回数で開講していただきたいです。(土曜日のワークショップ) ②舞台美術に関するワークショップがやってみたいです。	①『土曜日のワークショップ』の受講者から同様の声が多くあがったことから、平成27年度に特に人気のあったプログラムについて、通年で実施することにした。 ②舞台技術に関するワークショップについての要望があったことから、土曜日のワークショップで『はじめての舞台美術講座』や『舞台照明デザイナーによる あなたの部屋をコーディネート』を実施した。
回答者数		③広報伊丹の夏休み特集に合わせて告知を行っていたが、ウェブサイトなどで実施日の告知を先行して行うなど改善を行う。
1,527	③夏休みの予定を早くたてたいので、ワークショップの告知を早くして欲しい。	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置